



未来のまちへチャレンジ！ 2020 なとりこどもファンド 事業決定！



8月1日文化会館で行われた公開審査会で11名のこども審査員が審査を行い、以下の団体の事業が採択されました。

グループ名	区分	活動名	内容
1 宮城県農業高等学校 作物類型班	高校生	きれいな街・すみやすい街・自慢できる街にホテルを	カワニナがある自然豊かな高館に、ホテルを生息させたい。この自然環境を保全することで、きれいで住みやすいまちとして自慢できる街づくりをしたい。
2 チーム下小っこ	小学生	花で安全パトロール	下小前交差点に花を植えて交通事故を無くしたい。
3 名取北高校生徒会	高校生	名取市役所周辺のウォーキング&サイクリングマップ作成	自粛期間中、外に出ることができなかったため、マップをつくることで外出の機会を増やし、気分転換や健康寿命の延伸につなげたい。
4 Teamオレンジ	高校生	被災地に秋桜を～オレンジロードプロジェクト～	みやぎ復興マラソンのコースにオレンジのコスモス(秋桜)を咲かせることで、全国のランナーをお出迎えする。
5 宮城県名取北高等学校 奉仕活動部	高校生	特大版 なとり令和「夢」かるた	なとり令和「夢」かるたを通して、幅広い年代の人々とコミュニケーションを取り、名取の魅力を知らせてもらうことで、名取を盛り上げていきたい。
6 下増田児童センター 子ども実行委員会	小学生	名取市特産物PR	名取市と姉妹都市の特産品を調べ、自慢し合う交流会を行うことにより、姉妹都市に関心を持ち、地域の方と仲よくなりたい。
7 Team商品開発	高校生	商品開発で地元をPR Part 3	生産者の想いを込めた食材を商品化し、作る人も食べる人も笑顔にしたい。「名取市に来たらこれを食べたい」と思われるような商品を開発したい。
8 ゆりもり隊	小学生 中学生	集まれ!! 関上のまち ～関上の○○～	写真を集めて、関上らしい作品をつくり写真展を開催する。みんなが来たい、楽しいまちを目指して、コロナに気をつけながらイベントを行う。
9 宮城県農業高等学校 作物専攻班	高校生	「お米・おむすび・井の魅力」で体づくり!!	「おむすび」「井」の形・具材などを開発し、地域の新たな食材を利用することで、名取の特産品の利用価値を高める。「お米の魅力」を子どもたちへ伝えたい。
10 夜空に花を咲かせ隊	小学生	みんなに笑顔と元気と思いを届けたい!	自分たちが企画した火花でみんなに希望と元気と思いを届けたい。火花や花火師さんの仕事や思いを学び、みんなに伝えたい。

2020 こども審査員のみなさん

うさぎ 植木 菜月(高3)	ささき 佐々木 侑海(高3)	とよざき 鶴崎 宏河(高2)	こばやし 小林 千桃(中3)	やまぎ 八巻 美頼(中2)	ささき 佐々木 美緒(中2)
かわむら 川村 洋介(中1)	さとう 佐藤 啓亮(中1)	たがはし 高橋 知大(小6)	いとう 伊藤 碧泉(小6)	おがと 大友 愛花(小6)	ほまた ひまり 沼田 姫麻里(小5)

私たちが
採択しました!!

2019・2020年に 寄附をいただいた皆さま

個人… 中野 忠男 様、嶺岸 淳也 様
企業… 西松建設株式会社
北日本支社 様
ほか、たくさんの皆さまから寄附をいただきました。応援していただきありがとうございます!



寄附金は、税制上の
優遇措置があります

「ご寄附をいただいた方からのメッセージをご紹介します」

こどもファンド創設当時よりみなさまの活動を拝見し、協力をさせて頂いております。
小学生から高校生までそれぞれの年齢・経験・興味・学習等に応じて様々な発想と努力で地域貢献、社会貢献活動に生き生きと取り組んでいる姿は、実にさすがで、心が洗われる感じがいたします。また中には大人顔負けの実業とコラボした企業の域にまで迫った活動もありました。まさに名取の将来、日本の将来は明るいなと安心して希望を持たせてくれます。
今後とも子どもならではのユニークでピュアで社会を明るくする活動が次々と提案され実践されることを期待しております。(西松建設様)



創刊号
2020年度

なとり こどもファンド通信



「なとりこどもファンド」が始まっています!

名取市では2019年度より「なとりこどもファンド」をスタートしました。
なとりこどもファンドは、2017年から西松建設株式会社が西松建設まちづくり基金として行っていましたが、2018年で終了したため名取市が事業を引き継ぎ実施していくものです。
なとりこどもファンドは、18歳以下の子どもたちが主体となっていくまちづくり活動に10万円までの助成を行います。子どもたちが考えたまちづくり活動は公開審査会でプレゼンテーションしてもらい、こども審査員が審査・採択します。

なとりこどもファンドのしくみ



応募の条件

1. 名取市内在住、または通学している18歳以下の子どもで作ったグループ(3人以上)。
2. グループのメンバーが1つの家族(兄弟姉妹)だけでないこと。
3. サポートしてくれる20歳以上の大人が2人以上いること。

助成金額

1つの活動団体に対して最大10万円
※助成対象は、活動に必要な材料代・文房具代・印刷代・講師謝礼等です。

事業の特徴

提案・審査・活動の全てを「子ども主体」で行う全国的にも珍しい事業です

実際に活動を行うのは、子どもたち自身です。子どもたちの「アイデア」や「チャレンジ」をカタチにするためには、周囲の大人の協力が必要不可欠です。活動を見かけたら、温かく見守ってください。そして「がんばってるね!」と声をかけてください。こどもファンドへ応募したいグループがいたら、ぜひ大人サポーターとして手を差し伸べてください。
みなさまのご支援・ご協力をお願いします!!

名取市長 山田司郎 なとりこどもファンド通信の「創刊」にあたって



「自分たちのまちは自分たちでつくる」を目的とし、将来を担う小中高生が提案、審査、実施する自主的な活動を支援する『なとりこどもファンド』事業は、早稲田大学 卯月盛夫先生のご指導のもと、子どもの時からまちづくり活動に携わることで、まちづくりの楽しさ、大切さを学び、将来の地域活動を支える人材の育成を図ることを目標にスタートしました。
未来を担う子どもたちの活動の様子を多くの方に知っていただき、この事業への認知度や関心を高めることで参加者や協力者を増やし、ともに創る未来へつながる事業へと育てていきたいという思いのもとに「なとりこどもファンド通信」を発行する運びとなりました。
『なとりこどもファンド』をきっかけに子どもたちが名取をもっと好きになり、名取で生まれ育ったことを誇りに思えるよう、「愛されるふるさと なとり」の実現に向け皆さまのご理解ご協力をお願い申し上げます。

2019 なとり こどもファンド 活動報告 だよ！



2019なとりこどもファンドの活動の様子です。
12団体12事業を紹介します。

2019 こども審査員のみなさん

植木 菜月(高2)	佐々木 侑海(高2)	猪股 悠翔(高1)
小林 千桃(中2)	伊豆 雄汰(中1)	佐々木 美緒(中1)
伊東 拓音(小6)	後藤 信悟(小6)	大村 さくら(小6)
荒川 ゆう(小6)		伊藤 碧泉(小5)

こども審査員をやってみて「楽しかった！」「またやってみたい！」「友だちにすすめたい！」という意見が大多数を占めました。その中から感想の一部をご紹介します。

名取市をより良くするために、同年代の人たちがこんなに多くのユニークなアイデアを持っていて感心しました。同世代の子たちとこのように自分が住んでいる町について深く話す機会はなかなかないので、とても良い機会だったなと思いました。

こども審査員の
ひとこと



国際交流プロジェクト～Let's have party～in Natori



外国人を招いて日本文化を伝えました

GReeeeeeen(みどり台中)

名取の安全・安心・美化活動

地域の皆さんと
交流ができました



名取北高校生徒会

とどけよう！レインボースマイル



高館地区の高齢者施設訪問

スーパー高館っ子(STK)

クリーンアンドフェスティバル～海の街開上復興への第1歩～



手づくりのお祭りで
開上を元気にしたい

ゆりもり隊

なとり令和『夢』かるたの製作



名取の魅力が
盛りだくさん！

宮城県名取北高等学校 奉仕活動部

被災地に秋桜を～オレンジロードプロジェクト～

花が咲いたら
ゴミが少なくなりました



沿岸部の道路

Teamオレンジ

み～んなトモゲチ～笑顔のWA～



児童センターを訪問して、
みんなで踊りました

笑顔最高

名取こどもミュージカル

Hand in Hand NATORI～音楽を通して名取を元気に～



名取を音楽のあふれる町に！

オリジナル
シャッ作り

Hand in Hand NATORI

地域を笑顔に大作戦



みどり台中生がお祭り手伝い、清掃活動

SF～smile festival～

4つの商品開発で地元をPR Part 2



学校の牛乳を
使用したジェラート

Team商品開発

「お米・おむすびの魅力」を再発見



おむすびプレゼン試食会

宮城県農業高等学校 作物類型班

きれいな街・すみやすい街・自慢できる街にホテルを

学校周辺の生き物調査



宮城県農業高等学校 作物専攻班

早稲田大学教授 卯月盛夫 先生(なとりこどもファンドチーフアドバイザー)



なとりこどもファンドは、ドイツのミュンヘンで行われている「こども・青少年フォーラム」を参考に、「こどものまちづくり提案権」を実践するためにつくられました。こどもが日常的に感じていることを仲間といっしょに提案し、こども審査員の支持が得られると、そのアイデアを実現することができます。このような体験をしたこどもは、「まち自分たちの力で変えることができる！」と感じるでしょう。また、大人はこどもの提案や実践活動を側面から応援することによって、こどものユニークな発想や鋭敏な感覚、さらにまちや人に対する思いやりに接し、大人が忘れてしまった「こどもの視点」の重要性に気づきます。つまり、なとりこどもファンドは、こどものためのまちづくりの仕組みですが、同時に、大人がこどもからまちづくりをあらためて学ぶ機会でもあります。こどもと大人と一緒に、名取のまちづくりマインドを育てていきましょう！